



農振農用地区域外の農地との一体的な取組(水田貯留機能増進)

ぴっぴみなみ ぴっぴちよう
比布南地区環境保全活動組織 (北海道比布町)

- 本地区では、大雨時に農業用排水路や小河川の溢水のおそれがあるなど、洪水対策が地域の大きな課題となっており、田んぼダムによる地域の水田貯留機能を向上させる取組への関心が高まっていた。
- また、市街地周辺部では、農振農用地区域内の農用地と区域外の農用地が錯綜しており、これら農用地での一体的な取組により、より効果的な洪水軽減対策が図られると考えていた。
- 活動組織の役員が中心となり、水田貯留機能増進の必要性を地域内の農業者に対して説明し、田んぼダムの取組や広報活動等を通じた防災意識の向上等、防災・減災の取組を開始することとなった。

【地区概要】

- ・取組面積 492ha (田 492ha)
- ・資源量
開水路114.9km、農道 42.6km
- ・主な構成員
農業者、非農業者、JA、
土地改良区、自治会(行政区)
- ・交付金 約18百万円(H29)
〔 農地維持支払
資源向上支払(共同) 〕

地域の現状



農振農用地区域外農用地

- 地区内の市街地周辺部では、農振農用地区域内の農用地と区域外の農用地が錯綜している。
- 地域の防災・減災等の多面的機能を発揮するために、これらの農用地と一体的な取組を開始。

取組内容



落水工に板を設置して、大雨時の排水量を減らすことにより、田んぼに雨水を一時的に貯留し洪水被害の軽減を図る。



貯留機能増進のため畦畔の再構築も実施している。



田んぼダムの取組について看板を設置して、地域住民に普及・啓発を行っている。



また、5日午前、各地区環境保全活動組織では、河川の水位が上昇したため、防災行政無線で水田の排水落ち口板を設置するよう協力を呼び掛け、田んぼダムによる治水で被害の軽減に努めました。

町の広報誌で、大雨時における田んぼダムの取組が紹介される。(平成26年9月 比布町広報誌より)